

家庭で使うエネルギーのうち、冬季の暖房用のエネルギーは、約四割を占めるといわれており、それだけに冬の省エネルギー対策は非常に重要です。

各家庭では、次のような工夫を行うことに

より、省エネルギー対策にご協力ください。

暖房温度は十八℃に一度下げれば、熱料費は約一割節約できます。

部屋の保温の心掛けを——カーテン、カーペットを上手に利用しましょう。

暖房機器の使用方法に工夫を——ストーブは部屋の用途や大きさ、使う人に合わせて選びましょう。

電気こたつの上手な使用を——こたつ敷きや厚手のこたつ掛けなどで保温効果を高めましょう。

太陽の恵みを——太陽熱を十分とり入れ、日射を有効に利用しましょう。

湯沸器の使用方法に工夫を——瞬間湯沸器の口水をつけ放しにしないように、またお湯を流し放しにしないように気をつけましょう。

風呂は上手に使いましょう——冬は風呂が冷めやすいので次々と入浴するようにし、洗たくには残り湯を有効に使いましょう。

住宅に断熱材の使用を

マイカーの利用に工夫を——エネルギーは、できるだけ自走しましょう。

家庭でのエネルギー管理を——エネルギー消費量を月別のグラフにしてみると、我が家は省エネルギー努力が確認できます。

件数 死者 傷者

56年 (2) (0) (2)

55年 25 2 24

54年 28 0 30

家庭の冬の省エネルギー対策 10の提案

1月は省エネルギー月間

休日在宅当番医のお知らせ

2月下旬から3月の休日在宅当番医は下表のとおりです。内外科とも原則的には午前9時から午後5時までですので、その時間内に受診してください。

時間外でやむを得ないときは、当番医の変更の有無を役場へ確かめてから受診してください。

〈内科〉

月	医院名	電話番号	月	医院名	電話番号
2/22	山喜医院	(2)0646	3/1	岩崎医院	(2)1122
3/1	星野南医院	(6)2103	8	金井医院	(2)0116
8	内島医院	(6)2446	15	寺師医院	(2)0137
15	山谷医院	(2)0371	21	石川医院	(6)2140
21	霜鳥医院	(2)0579	22	佐々木医院	(2)2357
22	小林医院	(2)0562	29	岩崎医院	(2)1122
29	堀医院	(6)2133		金井医院	(2)0116

◆照会先は中之島村役場 02586-6-2002

◆救急車の要請は与板郷消防署 025872-2572

期間／2月18日(水)～22日(日)

会場／中之島村公民館

第7回村民作品展

広報 なかのしま

2月号 南蒲原郡中之島村役場

編集と発行 中之島村役場企画課
〒954-01 02586(6)2002



(二月三日 中之島保育所で)

鬼は矛と
福はうさ

人口のうごき

1月31日現在

()内は前月比

人口	11,260人	(+4)
男	5,512人	(-3)
女	5,748人	(+7)
世帯数	2,237戸	(-1)

今月の納税 ▷国民健康保険料(第6期) ▷固定資産税(第4期) ▷保育料(2月分)

人命救助で表彰

—刈谷田川でも小学生が—



堀 順昭さん



高森清輔さん



星野重造さん

刈谷田川でも小学生を助けた、中之島第五の堀順昭さん（46歳）と猫興野の高森清輔さん（43歳）同じく星野重造さん（59歳）の3人が、今月2日見附警察署から表彰されました。また、10日には中之島中央小学校のPTAからも表彰されました。

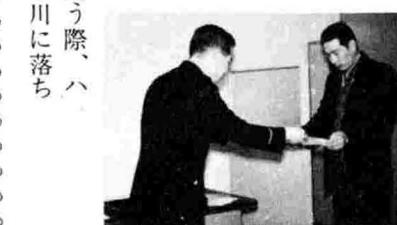
先月21日午後3時30分頃、下校途中の小学生3人が猫興野橋付近の雪捨て場で、雪の塊を川に落として遊んでいたうち、一人（1年生）が雪の塊と一緒に雪のガケを滑り落ち、足の方から転落。

知らせで駆けつけた三人はロープを用意し、協力してその小学生を助け上げたものです。

『堤防付近では遊ばせないよう、また、見かけたらひと声かけてやめさせるようにしましょう。

運転をあやまり、川に落ちた主婦を助けた下沼の垂沢哲夫さん（三十二歳）が、先月九日見附警察署（玉木達男署長）から人命救助で表彰されました。

昨年十二月二十一日午後八時十分頃、真野代橋近くの県道（通称源太郎茶屋付近）で対向車とすれ違う際、ハンドル操作をあやまり川に落ちました。



猿橋川で主婦救う — 垂沢哲夫さん

運転をあやまり、川に落ちた主婦を助けた下沼の垂沢哲夫さん

（三十二歳）が、先月九日見附警察署

（玉木達男署長）から人命救助で表彰さ

れました。

昨年十二月二十一日午後八時十分頃、真野代橋近くの県道（通称源太郎茶屋付近）で対向車とすれ違う際、ハンドル操作をあやまり川に落ちました。

運転をあやまり、川に落ちた主婦を助けた下沼の垂沢哲夫さん（三十二歳）が、先月九日見附警察署（玉木達男署長）から人命救助で表彰されました。

昨年十二月二十一日午後八時十分頃、真野代橋近くの県道（通称源太郎茶屋付近）で対向車とすれ違う際、ハンドル操作をあやまり川に落ちました。

年賀はがき 一等に当選

みごと一等の自転車を射止めた主は、西野の大倉奈緒子さん（広義さん方三条東高校1年生）。60枚ほどきた年賀状のうちの1枚で、当選番号はAB組共通の972641とのこと。

今月9日、管轄の中条郵便局で伝達式が行われ、待望の自転車を受け取り、大喜びの奈緒子さんでした。



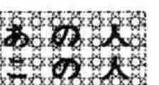
▲除雪した雪の壁が
三メートル以上になりました。
(インターチェンジ付近の旧国道で)

五
六
豪
雪

●四二センチメートルの積雪を記録
した一月二十一日に「豪雪対策本部」
を設置、これから雪にも万全を期
して行きます。

～たばこは村内で買いましょう～

村民広場



猫興野 星山文江さん（六十歳）



はり絵をはじめて十年。和紙特有のほのぼのとした温かみがあり、子供達柔らかみに魅せられて、我流ではじめたという猫興野の星山文江さんを訪問しました。

十五年頃から、はり絵の製作に取り組みました。と、動機を語られる。構図は、もっぱら自分で書いたスケッチの風景とメルヘンの世界。そのため、スケッチブックはどこへ行くにも、いつも携行しているとのこと。製作は、おもに家族が寝静まつた夜から夜中で、特にかかるのは、吹

雪の夜とか荒れている夜などが最高だそうです。

村の作品展や村民祭には必ず出品され、市展にも入選する腕前。この頃は、製作が間に合わないくらい注文があり、また自宅で毎月二回、十名ほど見附方面の方が習いにこられるなど、はり絵の世界もだんだん広くなってきたとか。

「はり絵をしていてると、色彩感覚が豊かになりますよ。」

「はり絵をしていて、気持ちも若く保てますよ。」

と、その効果をPR。今後の創作目標について「白の潔潔感が好きなので、雪の風景に挑戦したい」と、語られる星山さんでした。

みなさんのいこいの場としていただけます「村民広場」、この欄に登場させたい人の紹介、地域の話題等、情報を係へ連絡下さい。

連絡先／役場企画課広報係

はり絵の世界

新しく仲間入り

(敬称略)

転入 大人 社会人 集団生活



中之島第7
荒藤芳二(29歳)
会社員



鶴曾根
古川泰子
学生



中新第2
斎藤守(18歳)
会社員



中条東
さとうりえ(4歳)
園児

寺泊のシルバーサービスに勤めて、そろそろ一年目を迎えるという守さん。仕事は慣れてきたが、ノギスで測るのを覚えていたので、みんなと外でスノーボードに乗って遊んでいたのです。大好きなおやつはアメとビスケットで、昼食のおかずは野菜類が大好物とか。大きくなつたら、花屋さんになりたいと話す、りんごさんのほっぺをしたりえちやんでした。

保育所で一番楽しいときは、「輪投げとねん土とブロック遊びをしているとき」と、元気に答えるりんぐさん。さつきまで、みんなでスノーボードに乗って遊んでいたのです。大好きなおやつはアメとビスケットで、昼食のおかずは野菜類が大好物とか。大きくなつたら、花屋さんになりたいと話す、りんごさんのほっぺをしたりえちやんでした。

本村の起源は、最も早く開けた五百刈、杉之森が西暦七二二年で、今から一、二六〇年前に開発されたものと思われる。正治元年には平家の落人、池大納言頼盛が五百刈に仮り住まいされた事跡がある。文明十五年十二月三十一日付の色部文書に「川中之島村」とある。また、元禄十五年の越後国御帳に「中之島村」の名称があり、これが現在判明している史跡である。

慶長三年、上杉景勝が会津に封ぜられ堀秀治代つて領有、その治下に属したが同十五年、堀家改易後は各藩に分属され、大字鶴ヶ曽根、末宝、下興野、福原、松ヶ崎、海老島の地は与板藩領、大字中野西、中野東、中野中、亀ヶ井は天領で、その他は新発田藩の所領であった。

明治維新の大改革に至り、同元年九月十九日越後国に新潟裁判所が置かれ、その所轄となり、以来越後府、新潟府、十三県制など幾多の変遷を経

△村のあいだち△

周年にあたります。この大きな節目を迎えるにあたり、村では記念行事・記念誌の発行等を計画していますが、広報でも今月号から「八十年のあゆみ」と題するコーナーを設け、おもな出来事などを紹介していきます。今回は、中之島村の誕生を紹介します。

新村名中之島村

て同四年十一月二十日新潟県所管に属す。また、同十一年七月郡区町村編制法施行にともない南蒲原郡長の行政下に入り、同二十二年四月一日町村制が施行された。中之島村の区域においても村の分合が行われ、中之島村、神通村、中通村、中野村、中条村、信条村、三沼村、西所村の八か村にまとめられた。

村政施行
80周年
その1

八十年のあゆみ

先月号に引き続き、新潟県農業士海外研修派遣団の一員として、ヨーロッパ諸国を訪問して、こられた横山の大久保武実さんの感想を紹介します。

今回は、ドイツの農業についての感想です。

日本で農家といつたら稻作を行っているのが一般的なようだ。ドイツで農家といつたら牛とか豚を飼っているのが一般的である。

現在農家数は八十四万戸で、そのうち七十五%が耕地面積二〇ha前後、四・五%が五〇ha以上であり、専業農家と兼業農家の比率は約半分づつである。家畜数の多少で個々の農家経営は異なり、畜産は養豚・酪農が主体を占めている。家畜の飼育数は耕作面積に合った頭数飼育で、九十九%が自給飼料でまかない、ビタミン類などを購入するだけである。従って、野菜農家、穀類農家は家畜数が少ない。

ドイツは日本のような総合農協システムはない

先月号に引き続き、新潟県農業士海外研修派遣団の一員として、ヨーロッパ諸国を訪問して、これらの横山の大久保武実さんの感想を紹介します。

大久保武実

農業研究修体験記
(その二)

三一書院

その後、学校教育並びに地方自治体として行べき事業が急速に増加してきた。けれども、これに対する各村の財政力は極めて薄弱であり、新事業に対応できかねる状況であった。

この窮状を開拓するため、政府の指導する町村大合併方針に呼応し、他町村に先がけて明治三十四年に八か村の大合併が実施され、現在の中之島村の体制ができあがつた。

しかしながら、この大合併も決しておだやかに進行したものでなかつた。

合併の経緯

関係八か村は信濃川、刈谷田川、猿橋川をもつて開まれて天然の一区画をなし、水利の関係、習慣の上からも合併は当然と思われたが、各村の人口及び地価等の優劣、幕政時代の新発田領と幕領及び与板領等の関係で、中野村は独立を希望し、他の七か村（旧新発田領）は合併に賛成し難行した。しかし、八か村の中央に位置する中野村だけ独立する理由は成立せず、合併に説得されることになつた。

◆ 明治三十四年十一月一日
合併による新村名 中之島村

◆ 明治三十四年十一月一日より
同三十五年二月十八日まで、郡書記・大倉廉平の
職務官掌となる。

初の中之島村役場庁舎は、中野中の旧中野村役場
を使用（後に教員住宅に転用）——現在、大久保兵三
郎氏宅の西隣り）、明治三十五年一月より大字中之島
に役場新庁舎建設（現在の与板郷消防署中之島救急
分遣所の位置）

第一回村議会議員選挙を明治三十五年一月二十一
日に施行（任期六年）。同年一月十九日村議会におい
て、初代中之島村長に星野通今氏が選出された。

農家はシユガービートを、トラック輸送かト
レーラー（四〇車くらい）をトラクターでけん
引して工場に搬入する。工場では、搬入車ごと
に計量、糖度を分折し、結果を一週間ごとに農
家へ送る。また、分折結果に基づいて会社の技
術員は、農家に対して栽培指導を行っている。
ビートの収穫期である三ヶ月間の農繁期は、工
場は三交替で二十四時間操業である。当工場で
生産される砂糖の大部分は地元（ルール地方）
で消費され、残量は輸出されている。

近年、砂糖は過剰傾向となり、EC以外の国
にも輸出されている。過剰に対し工場では、農
家個人の過去五年間の収穫量実績の平均を買入

制限（作付制限）として対処している。農家からのビートは、土から掘り上げたままの状態で搬入されるので、車に乗せたまま水洗される。その泥水六万㌧の貯水池が設けられ、一定期間の処理ののち水は再利用される。日本では、加工に農産物を出荷する際、泥、汚れを取り除かなければならぬので、あまりの違いに驚くやら、うらやましいやら。また、工場の使用電力は自社の火力発電でまかない、その発電・熱処理の際に出る煙害のために三億円もかけて煙突を修整したとか、スケールの大きさにただ／＼ピッククリするばかり。

製糖工場を見学して感じたことは、農家は栽培するだけで精一杯。だから、安心して販売できる組合・組織を自分達の手で作り、運営していかなければならぬのだなど感じた。



係では古い写真を探して
おります。お持ちの方、お
心あたりの方は、企画課広
報係までご連絡ください。

次回は、
〔資料提供　郷土史編さん調査委員会
明治末期ぐらいまでを紹介します。〕

中之島村——大竹本民
中野村——佐々木与三太
中条村——星野通岑
三沼村·西所村——吉原義雄
神通村——高橋太平次
中通村——真野院治
信条村——星野権平

3月25日(水) 9:00~12:00

島田の一部、宮内下村の全部

